

JAFSA、26年賀詞交歓会 飯垣会長「26年は変化の年になる」

外航船舶代理店業協会（JAFSA）は22日、都内のホテルで2026年新年賀詞交歓会を開催した。

開会挨拶に立った飯垣隆三会長（Ben Line Agencies Japan 会長、写真）は冒頭で、昨年米国でトランプ政権が成立し、様々な政策に世界が翻弄されたことに触れ「2026年は色々なことが起きる変化の年になる。ただ、当会のメンバーはこれまで、オイルショック、リーマンショック、ITバブル崩壊など、色々なことを乗り切ってきたので、何が起ころうと、乗り切り、さらに成長していくと確信している」と展望した。続けてJAFSAの今年の活動方針について述べ「JAFSAは引き続き会員増強に取り組んでいく。昨年は7社が新たに加盟し、今年は新たに3社がすでに会員になった。会員の増強のためには、セミナー活動に力を入れていく必要がある。特に魅力的なセミナーの開催が重要で、今年も著名な講師を招き、魅力的なセミナーを開催していきたい」と方針を明らかにした。

たので、何が起ころうと、乗り切り、さらに成長していくと確信している」と展望した。続けてJAFSAの今年の活動方針について述べ「JAFSAは引き続き会員増強に取り組んでいく。昨年は7社が新たに加盟し、今年は新たに3社がすでに会員になった。会員の増強のためには、セミナー活動に力を入れていく必要がある。特に魅力的なセミナーの開催が重要で、今年も著名な講師を招き、魅力的なセミナーを開催していきたい」と方針を明らかにした。

うえて、「JAFSAは地方創生を応援するという方針のもと、地方でのセミナーに力を入れ、昨年は神戸、清水でセミナーを開催し好評を博した。今年も地方で魅力的なセミナーを開催したい」と述べた。

また、飯垣会長は最後に「世界では女性の活躍が目覚ましい。日本の代理店業界でも、女性の活躍を進めていきたい」と抱負を述べた。

今年も新たに新潟県の地方航空会社 TOKI AIR、小樽港で活動するノース

ポート・サービス・ジャパン代表取締役）が登壇し乾杯の音頭を取った。

続けて、JAFSAの金田善則副会長（ウィルヘルムセン・ポート・サービス・ジャパン代表取締役）が登壇し乾杯の音頭を取った。



JAFSA

飯垣会長「変化乗り切る」 セミナー開催で会員獲得



あいさつする飯垣会長

飯垣会長は、日本で初の女性首相が誕生したことにも言及。「JAFSAにも、より女性に活躍してもらいたい」と述べ、女性活躍の推進にも注力したい」と述べた。

また、著名人を講師に招いたセミナーの開催を通じて会員獲得や地方創生に寄与する方針。昨年は都内と静岡・清水でセミナーを開き、好評を得た。飯垣会長は、最重要課題となる会員増強が順調に進んでいることを報告。昨年は7社、今年も新年早々から3社が入会したことを明かした。トキエア（新潟市）、ノーススタートランスポート（北海道小樽市）、金沢港運（金沢市）の新規入会3社の代表者が登壇し、抱負を述べた。

賀詞交

た。今年も、著名人を講師に招いたセミナーの開催を通じて会員獲得や地方創生に寄与する方針。昨年は都内と静岡・清水でセミナーを開き、好評を得た。飯垣会長は、最重要課題となる会員増強が順調に進んでいることを報告。昨年は7社、今年も新年早々から3社が入会したことを明かした。トキエア（新潟市）、ノーススタートランスポート（北海道小樽市）、金沢港運（金沢市）の新規入会3社の代表者が登壇し、抱負を述べた。

乾杯の音頭は金田善則JAFSA副会長（ウィルヘルムセン・ポート・サービス・ジャパン代表）が執った。金田副会長は、上部団体の国際海運代理店世界連合（FONASBA（フオナサバ））の年次総会が今秋、東京で開催されることや、スエズ運河の通航再開機運などに触れ、「今後も臨機応変な対応でこの業界を一層盛り上げていきたい」と述べた。

飯垣会長「会員増強やセミナー開催に注力」

■ 外航船舶代理店業協会、賀詞交歓会

外航船舶代理店業協会（JAFSA）は22日、都内で「2026年度外航船舶代理店業協会賀詞交歓会」を開催した。同協会の飯垣隆三会長（ベン・ライン・エージェンシーズ・ジャパン会長）は冒頭のあいさつで「今年も会員の増強に力を入れていく。さらにセミナー開催にも注力し、会員に魅力を感じてもらえる活動を行っていく」と話した。

会員増強については、昨年は新たに7社が会員に加わったことを報告。その上で「今年は新年早々、

新たに3社が会員に加わる」と話した。また、セミナー開催については「これまでも著名な講師を招き、皆さまの関心が高い話をお願いしてきたがこれを続けていく。セミナーは東京のみならず地方でも開催している。昨年は清水、一昨年は神戸で行っており、好評だ



飯垣隆三会長

った」と紹介した。また、女性活躍推進にも意欲を示し「特にこのような物流業界のパーティなどでは、まだまだ女性の出席者が少ない印象だ。ただこの業界でもより女性に活躍してもらいたい」と話した。

その後、来賓として佐藤正久前参議院議員があいさつした。乾杯の音頭は、同協会の金田善則副会長（ウィルヘルムセン・ポート・サービス・ジャパン代表取締役）が取った。

飯垣会長「会員増強やセミナー開催に注力」

■ 外航船舶代理店業協会、賀詞交歓会

外航船舶代理店業協会（JAFSA）は22日、都内で「2026年度外航船舶代理店業協会賀詞交歓会」を開催した。同協会の飯垣隆三会長（ベン・ライン・エージェンシーズ・ジャパン会長）は冒頭のあいさつで「今年も会員の増強に力を入れていく。さらにセミナー開催にも注力し、会員に魅力を感じてもらえる活動を行っていく」と話した。

会員増強については、昨年は新たに7社が会員に加わったことを報告。

その上で「今年は新年早々、新たに3社が会員に加わる」と話した。また、セミナー開催については「これまでも著名な講師を招き、皆さまの関心が高い話をお願いしてきたがこれを続けていく。セミナーは東京のみならず地方でも開催している。昨年は清水、一昨年は神戸で行っており、好評だった」と紹介した。ま



飯垣隆三会長

た、女性活躍推進にも意欲を示し「特にこのような物流業界のパーティなどでは、まだまだ女性の出席者が少ない印象だ。ただこの業界でもより女性に活躍してもらいたい」と話した。

その後、来賓として佐藤正久前参議院議員があいさつした。乾杯の音頭は、同協会の金田善則副会長（ウィルヘルムセン・ポート・サービス・ジャパン代表取締役）が取った。

JAFSAが26年の賀詞交歓会を開催

外航船舶代理店業協会（JAFSA）は1月22日、都内のホテルで2026年度の賀詞交歓会を開催した。

飯垣隆三JAFSA会長（ベン・ライン・エージェンシーズ・ジャパン会長、写真）は、「内外の情勢が混沌としており、ことしは変化の年になる。JAFSA会員企業はこれまで、オイルショック、リーマンショック、ITバブル崩壊など、激動の時代を乗り切ってきたので、何が起ころうと、うまく乗り切り、さらに成長していくと確信している」と述べた。

また今年の活動方針については「引き続き会員増強に取り組んでいく。昨年は7社が加盟し、ことしも3社がすでに会員になった。魅力あるセミナーを首都圏、地方で開催し、会員強化と地方活性を図る」とした。その後、新規入会3社の代表者が登壇し、抱負を述べ、金田善則JAFSA副会長（ウィルヘルムセン・ポート・



上より

海事プレス 1月23日版

Daily Cargo 1月23日版

Shipping Gazette 2月02日号